

(別紙)

令和3年度第1回八戸市青少年問題協議会の書面協議において寄せられた御意見、御感想の主なもの

(委員及び幹事の皆様、貴重な御意見、御感想ありがとうございました。)

- ・ 学校等のグラウンドで、元気に部活動に取り組む子ども達を見る機会も減り、寂しく感じております。様々な活動制限はありますが、子ども達の安全確保に最大限努めてまいります。
- ・ 八戸青年会議所では9月19日に青少年事業を予定しています。当初はマチニワにて開催予定でしたが、コロナの状況を踏まえてWebにて開催します。
- ・ 健全な保護者のもとに健全な子は育つ。ただ、どんな子もつまずき、まちがえるので、早い段階で気づいてあげられる環境が必要。
- ・ コロナ禍ですが、「あいさつ運動」は継続して実践しています。
- ・ コロナ禍の中で中学生はじっと耐えています。時には、あきらめと思えるような姿を見る事もあります。今こそ希望と喜びを与えてあげなければと感じています。感染防止対策の中で大人や社会の知恵を子どものために発揮すべきと考えています。
- ・ コロナ禍、子ども達はできる範囲でよく活動していると思います。八戸市青少年生活指導協議会連合会は、コロナの状況を鑑みながら、小・中学校の指導のもと、できる範囲で活動できればと考えております。
- ・ 県による「新型コロナ感染症緊急対策パッケージ」で9月末まで活動が全くできないことになり、この状況がいつまで続くのか10月には解除されるのか、とても心配しております。子ども達の体験を通じた成長のためにも、一日も早い感染収束を願っております。
- ・ コロナ禍の前には、参観日、学校の行事等には必ず参加し、学校の様子、子ども達の様子がよくわかりました。また、地域連携協議会の委員になっていきますので、年2回会議が行われていたのですが、この1年半、それも中止になっております。早く再開できることを祈っております。
- ・ コロナ禍によりスポーツ協会の主な事業である、八戸市総合体育大会等が中止となり、又、各地区の体育振興会による運動会も中止となっている状況であります。唯一開催したスケート競技会(2月)では、参加の申込み条件として前14日間の検温表の提出を求めて実施したところ、会社関係のコロナ対策により例年の半数の参加者で、さびしい大会でありました。

- ・ スポーツの各種大会、修学旅行、行事等が中止・延期となり、子供達も外出を思う様にできず、勉強やスポーツに張り合いをなくしているように見受けられます。小・中学校の下校時、子ども達が安全に過ごすことができるようにパトロールし、広場や家まわりで遊んでいる子どもを見かけるとできるだけ声がけをするようにしています。
- ・ 根城地区では昭和 62 年から 9 月を「あいさつ運動強調月間」として 8 ヶ所で続けてきましたが、今年度初めてコロナ禍のため中止になりました。私は相変わらず毎朝、児童生徒に朝の挨拶を続けていて一人一人に声を掛けています。
- ・ 資料 4『令和 3 年度青少年だより』の「長者まつりめぐ広場で遊んでいる小学生と未就園児に声掛けしたところ、駐車場の車中に保護者がいて、日役のため帰るよう促した。」の事例のように青少年だけでなく保護者の意識改革が進んでいない状況が相変わらずあり、幼稚園としても対策を取りたいと思いました。
- ・ コロナ禍により、平常の生活は休止せざるをえなかったが、ふだん出来なかったことをしてみる機会になったのではないのでしょうか。私は流鏝馬を再興し、伝承する事業をすすめて来ました。学校行事、部活、塾等優先で、稽古時間を確保するのに苦労していました。この状況で稽古の機会を得ました。
- ・ コロナ禍で心身の調子が崩れ、本校（仙台育英学園通信制課程）へ転校してくる生徒も少なくありません。今後も本人の気持ちに寄り添った支援、対応をしていきたいと思っています。
- ・ コロナの影響で、外出を抑えていることも理由にあると思いますが、非行少年等の数は減少傾向であります。そんな中でも、中学生による不良行為等が前年同期比で増加しております。
引き続き、コロナ対策を講じながら、ボランティアの方等と連携して少年の健全育成に向け取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。
- ・ コロナ禍により、家族がともに家で過ごす時間が一見増えたようでも、実は、インターネットの利用時間が親も子も長時間に及んで、家庭内で子が豊かな情緒的交流を体験することができていなかったり、子が親の知らないうちに性的な画像や残虐な画像に接して深刻な悪影響を受けていたり、SNS サイトを介して親が思いもよらないような犯罪性のある行動に関わっていたりという問題は深刻化していると感じています。
地域のネットワークによる見守りや支援が、非行防止のためにますます大切になっています。